

令和7年度 久地南学区LMO推進協議会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・各事業を継続的に実施することで、住民同士の交流促進及びコミュニケーションの向上に寄与した。
・見守り活動及び交通安全旗振り事業を行い、安全・安心なまちづくりの推進に寄与した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	『OMOIYARI』春のグラウンドゴルフ大会の開催	(11)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年6月8日	
(2) 実施場所	広島市立久地南小学校 校庭	
(3) 参加者数	60人(大人57人 子ども3人)	
(4) 主催団体	団体名 くすの木台心代会	
4 取組内容	・グラウンドゴルフを通じて、地域の人達とこども達とのコミュニケーションを図った。 ・大人48人、こども48人の計96人が参加予定であったが、当日の参加者は大人57人、子ども3人、計60人と子どもの参加者が少なかった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・スポーツを通じて多様な世代の住民が参加・交流し、互いの意識の向上を図り、より幅広い住民の参加による明るいまちづくりを考える。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・スポーツを通じて知り合いとなることで、学区内で会った時お互いに挨拶をする、おもいやりの心に溢れた明るいまちづくりの実現に寄与した。 ・高齢者とこどもが世代を超えて運動しながら交流を図ることで、地域住民の健康増進につながるとともに、地域内における高齢者だけでなく、子ども達の見守り等に対する意識を高めることできた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』夏まつりの開催	(11)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月27日	
(2) 実施場所	くすの木台自治会館 周辺	
(3) 参加者数	320人	
(4) 主催団体	団体名 おやじの会	
4 取組内容	・久地南学区全体の祭りで、子どもの思い出となるよう夏休み期間中に実施し、大人とのふれあいの場づくりを行った。地域全体から多くの方が参加され、久地南全体のコミュニケーションを図った。 【運営団体ごとの取組内容】 「清和中学校生徒有志」：ポスター作り、ラムネ早飲み大会 「くすの木台婦人会」：スーパーボウルすくい 「くすの木台心代会」：射的 「おやじの会」：焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、かき氷、フライドポテト他 「くすの木台子ども会」：きゅうり一本漬け、千本くじ、光るおもちゃ 「久地南子育て支援クラブ」：輪投げ	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・地域住民の高齢化が進む中、多様な世代の住民が参加・交流する夏祭り（遊びと祭り）を通じて、お互い様の意識と思い出の向上を図り、明るいまちづくりができた。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・遊びと祭りを通じて知り合いとなることで、学区内で会った時にお互いに挨拶をする、おもいやりの心に溢れた明るいまちづくりの実現に寄与した。 ・高齢者とこどもが世代を超えて祭りをしながら交流を図ることで、地域住民の思い出につながるとともに、地域内における互いの意識を高めることができた。また、子ども達の思い出に残る行事を行うことで、郷土への愛着醸成にも寄与することができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』音楽会	(11)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月24日	
(2) 実施場所	広島市立久地南小学校 体育館	
(3) 参加者数	500人	
(4) 主催団体	団体名 久地南学区LMO推進協議会	
4 取組内容	久地南小学校と共に、小学生やその家族や地域住民を対象とした「OMOIYARI 音楽会」を開催し、おもいやりについて考えた。子どもたち・地域の方におもいやりの心を広げ、久地南を『ありがとう』が溢れる地域として前進させた。 木山裕策氏がんの体験、藤田恵美の手話を交えて、歌唱『OMOIYARI』のことばをより具体的にするために『ありがとう』ということばを広めた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・子供たちの“豊かな人間性”を育成する。 ・『OMOIYARI』＝『ありがとう』の心を育みみんなで助け合う久地南を目指し『ありがとう』が溢れる地域にする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・高齢者（65歳以上）が半数をしめる久地南学区において、参加者全員で“おもいやり”について考え、思いやりの行動について理解・共有し『みんなで助け合う久地南』を醸成したことで、住み続けたいまちづくりを実現させた。同時に『ありがとう』の言葉が溢れる久地南の形成につながった。 ・小学校等との連携を強化することで、地域内での連携・協力体制強固にすることができ、子どもや親世代にLMO推進協議会を知ってもらい、地域活動への参画意識の醸成につながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』がん研修	(11)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月24日	
(2) 実施場所	広島市立久地南小学校 体育館	
(3) 参加者数	500人	
(4) 主催団体	団体名 久地南学区LMO推進協議会	
4 取組内容	・広島記念病院消化器科 矢野雷太先生をお迎えして『がん』についての勉強会を実施して『がん』についての知識を高めた。 ・『がん』を告知されたときに慌てず適切な対応をすることが出来る行動力（能力）を身につけた（特に家族の人）。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・久地南学区は全人口の約半数が 65 歳（高齢者）でありいつだれが『がん』になってもおかしくない状況にある。（全人口 3,900 名） ・健康寿命を延ばすためにも『がん』についての知識は必要である。 また家族が『がん』の告知をされた時、慌てずに対応することが求められ、正しいがん知識を持つことで、誰もが暮らしやすい社会について考える。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・早期発見、早期治療の意識が上がり、健康年齢を上昇させる意識が高まった。 ・正しい知識を学ぶことで、地域の人々の健康増進に寄与し、地域全体が明るくなることで『住み続けたいまち』づくりにつながった。 ・勉強会により、『がん』はかつての「不治の病」というイメージから大きく進化し、克服できる疾患という理解を深めることができた。これにより、家族、近所のがん患者へ、おもいやりの心を持って接する意識が醸成され、誰にでもやさしい久地南学区のまちづくりの実現に寄与した。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』くすの木台コミュニティ祭	(11)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月2日	
(2) 実施場所	久地南集会所	
(3) 参加者数	500人	
(4) 主催団体	団体名 くすの木台自治会	
4 取組内容	くすの木台自治会が主催し、久地南学区全員参加型のお祭りを実施した。 (実施内容)：出店(飲食、物品販売)・神楽	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地域住民の高齢化が進む中、多様な世代の住民が参加・交流する住民主体のお店を出店するコミュニティ祭を開催し、子どもから高齢者まで幅広い住民の参加による行事の活性化につなげる。また、孤独感を少しでも解消し、様々な世代の住民同士が交流し顔の見える関係づくりを目的とする。 ・学区全体の方に参加していただき、キーワードの思いやりを広めて、安全で住みやすい地域を創っていく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 行事への参加を通して住民間のつながりが深まり、久地南学区全員で『おもいやり』について考え・行動し、団地内の課題や解決方法について考えるきっかけとなった。 また、交流が深まり、助け合いの意識が醸成されたことで、安心安全なまちづくりが進んだ。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』岳山登山の開催	(11)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__年__月__日 ～ 令和__年__月__日	
(2) 実施場所	-	
(3) 参加者数	____人	
(4) 主催団体	団体名____	
4 取組内容		
※熊出没の危険性があるため、令和7年11月6日に臨時総会（書面開催）にて協議、令和7年11月25日決議にて中止となった。 ※行事変更とし、ペタンク体験会を企画することとなった		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』見守り・交通安全の実施	(11)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	久地南学区 交差点3ヶ所	
(3) 参加者数	350人	
(4) 主催団体	団体名 久地南学区LMO推進協議会	
4 取組内容	年間を通じて、小学生の登下校時に、地域の皆様による交差点3ヵ所での交通安全の旗振りを行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域活動の担い手が不足する中、地域の各団体が交通安全の旗振りを地域内の住民有志の協力も得ながら実施し、久地南学区の交通安全・犯罪防止を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・旗振りを通じて、交通事故の減少・犯罪の防止・抑止につながり、明るいまちづくりの実現に寄与した。 ・子ども達の感謝の心を育むことができた。小学校では感謝会が開催された。 ・地域団体等が連携して取組を進めることで、団体間の連携が深まった。 ・青少協・交通安全・防犯組合・自治会等の団体が見守りを実施し、住民同士の相互理解が進むことで、各種団体の新たな担い手確保にもつながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』一人暮らしの高齢者見守り活動	(11)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	久地南学区全領域	
(3) 参加者数	50人(社協福祉委員・民生委員・五月会・各自治会)	
(4) 主催団体	団体名 久地南地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・ひとり暮らしの後期高齢者(75歳以上)の『さりげない見守り』を実施した。 新聞が溜まっていないか、洗濯物が溜まっていないか、電灯がついているかを確認した。 ・気になる人、気づきがあった場合には、清和・日浦包括支援センターにもサポートをお願いした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・地域住民の高齢化が進む中、一人暮らしの方が増えている。また地域の中での孤独死の事例も起こっている現状がある。そうしたなか、お互いが気かけ、声をかけあうことで、ひとり暮らしの後期高齢者の孤独死をできるだけ軽減し、みんなで助け合うことが当たり前になる地域風土を醸成することを目的とする。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・『OMOIYARI』みんなで助け合う久地南になれば“住み続けたい久地南”が実現する。 ・事業を通して様々な人が協力しあうことで、団体間の連帯につながった。 ・さらに、自治会と共にこうした取組を広げていくことで、若い世代に自治会に加入することで得られる「安心感」を知ってもらうことができ、自治会加入の良さの周知に寄与した。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』久地南学区内サロン活動	(11)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	久地南学区全域および久地南集会所	
(3) 参加者数	150人 (各サロン10人～20人)	
(4) 主催団体	団体名 久地南地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・現在実施中のサロン活動（26 サロン）に対してエアコン代等を補助して、サロン活動を拡大・継続した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・地域住民の高齢化が進む中、サロンは身近な居場所として欠かせないものである。気軽に参加してもらうために、少しでも負担を減らし参加継続を図る。また新しい人も参加できるよう声掛けをし、サロン活動で健康長寿を達成し、認知症ゼロを目指す。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・サロンへの参加を通して住民間のつながりが深まり、地域の一体感が醸成され、みんなで気にかけて、助け合うまちづくりが進んだ。 ・これまでに参加したことのない人にも気軽にサロンに参加してもらい、参加者の健康寿命を延ばすことで、フレイル予防及び医療費の削減に寄与した。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』『これからのことを考える～安佐医師会病院～』	(11) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	くすの木台40人・瀬戸内25人・南が丘33人・境原27人 幸の神11人・小野原上19人・魚切25人・各自治会館	
(3) 参加者数	180人	
(4) 主催団体	団体名 久地南学区LMO推進協議会	
4 取組内容	・日程：単位自治会と相談の上、開催の日程等を調整（最大7回） ・内容「もしもの時に備えた心構え」について講演 ・講師：安佐医師会病院 病院長土手慶五医師 ・対象：久地南地区の全住民を対象 広島市でも看取りに関して多大なケースに係っておられ、また巧みな話術で聞き手を引き込む土手先生に講師を依頼し、準備しておくこと、記録しておくこと、家族と話し合っておくことを中心とした研修会を開催した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	医学の進歩や病気の早期発見早期治療、生活環境の改善などの要因もあり日本の平均寿命はあがり、急性期の病院における入院期間も短くなっており、自宅で療養していく流れとなっている。住み慣れた地域で安心して生活していくために、高齢者やその家族の心づもりやどのような医療を受けたいか、事前に話をしておくことの重要性を知っておくことは大切なことである。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	在宅での看取りも増えてくるため、本人がその人らしく最期を迎えることや、家族が本人の希望する医療処置を選択できるようになり、ひいては心も体も健康に生きていくことを考えるきっかけとなった。 また、久地南学区全住民を対象とすることで、自身や他人の健康にも気づかい合う意識を向上させることができ、安心して暮らし続けられるまちの形成につながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	『OMOIYARI』久地南ペタンク体験会	(11) 事業中 (11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月23日	
(2) 実施場所	広島市立久地南小学校	
(3) 参加者数	24人	
(4) 主催団体	団体名 久地南学区体育協会	
4 取組内容	・小学生から高齢者までを対象とし、ルール説明後、3名1組で数試合行った。ペタンクの初心者が多かったことから、グループ内でやり方等を教え合いながら実施した。 ・ペタンクは校庭や体育館等、身近な場所でできる競技であることから、数多くの住民の方に参加してもらうことができ、今後久地南の子どもたちと地域住民でコミュニケーションを図ることを目的として、広く広める事が出来た。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・多様な世代の住民が参加しやすく、声かけや助け合いを必要とするペタンク競技を通じて、お互い様の意識の向上を図り、より幅広い住民の参加による行事の活性化につなげ、明るいまちづくりを考える。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・ペタンク競技を通じて知り合いとなることで、学区内で会った時にお互いに挨拶をする、おもいやりの心に溢れた明るいまちづくりの実現に寄与した。 ・大人とこどもが世代を超えて運動しながら交流を図ることで、幅広い世代間のコミュニケーションの場の創出及び地域住民の健康増進につながった。 ・屋外で実施することで、久地南学区の自然を愛する心をはぐくむことができた。	

3 自主財源で実施した事業

特になし